



報道関係社各位

2018年3月7日

Appier, Inc.

**Appier、「アイソン」の新機能を発表  
予測したオーディエンスのセグメント機能を強化  
ターゲットオーディエンスのオンライン上の行動予測を可能に**

**直感的に使えるシンプルな UI で操作性を向上  
オプション機能で Treasure Data 社とのデータ連携ソリューション提供**

AI（人工知能）テクノロジー企業の Appier（エイピア、以下 Appier、本社:台湾、共同創業者/CEO:チハン・ユー）は、本日、AI 搭載のデータインテリジェンスプラットフォーム「AIXON(以下アイソン)」にオーディエンスのセグメンテーション予測機能を追加するとともに、より直感的で使いやすいユーザーインターフェース（UI）を採用したと発表しました。また、本日より Treasure Data 社との連携ソリューションをオプションとして提供します。

新たに搭載された「予測したオーディエンスのセグメンテーション機能」を使うことで、マーケターはターゲットオーディエンスの行動や嗜好を更に深く理解でき、オンライン上のアクションに関する精度の高い予測モデルを構築することができます。アイソンは、ユーザーをオンライン上で利用したキーワードによって分類し、関連したキーワードとキーフレーズを使って類似したユーザーを発見します。このモデルを導入済み企業の E メールマーケティングキャンペーンで試験的に実施したところ、メールの開封率が倍増しました。

アイソンのもう一つの新機能は、「チャンネル横断オーディエンス予測」です。この機能によって、企業は 2 つの異なる Web サイトあるいは単一の Web サイトの 2 つのセクションを選んで顧客の行動を比較することが可能になります。さらに自社のサイトやサイト内のセクションに興味を示すオーディエンスを予測することが可能になります。これにより企業の異なる複数のチャンネルを横断的に利用して、顧客とのエンゲージメントを構築することが可能になります。

製品マネジメント担当のバイス・プレジデントであるマジック・ツールは「AI には、学習とデータの充実を進めることで継続的に改善する性質があります。新しくアイソンに搭載したオーディエンス予測・分類機能は、企業のマーケティング施策において使いやすい AI を提供し、当社の顧客がアイソンの高い性能を実感してもらえらるものと確信しています」と語っています。

これらの新機能は既存・新規の顧客に対し本日から利用可能です。

アイソンのユーザーは、新たに接続先を選定できるオプション機能を利用することが可能になりました。Treasure Data 社のカスタマーデータプラットフォーム（CDP）ソリューションとアイソンを連携させることにより、企業はシームレスに CDP 内の顧客データを利用でき、アイソンプラットフォーム上で AI 搭載のオーディエンス予測・分類・分析機能を活用することが可能です。また、アイソン上で分析したデータセットは CDP に戻すことで顧客データベースを整備することが可能です。

## Appier について

Appier は、AI(人工知能)テクノロジー企業として、企業や組織の事業課題を解決するための AI プラットフォームを提供しています。詳細は [www.appier.com/jp/](http://www.appier.com/jp/) をご覧ください。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

Appier 広報事務局（共同ピーアール内）：藤本、宇高、八木

Tel : 03-3571-5258 Fax : 03-3574-0316

E-mail : [appier-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:appier-pr@kyodo-pr.co.jp)